

2020年11月4日

各 位

オイレス工業株式会社
代表取締役社長 飯田昌弥
(コード番号6282 東証第一部)

(問合せ先)

取締役 上席執行役員

企画管理本部長 宮崎 聡

TEL 0466-44-4901

**業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）
及び期末配当予想の修正に関するお知らせ**

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年5月26日に「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」で一部未定としておりました2021年3月期の業績予想及び2021年3月期の期末配当予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。また、本日開催の取締役会において、2020年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）をおこなうことを決議いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

なお、下記の予想については、本日付「2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」においても公表しております。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株あたり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	53,500	700	—	—	—
今回修正予想 (B)	52,000	1,400	1,900	1,200	38.33
増減額 (B-A)	▲1,500	700	—	—	—
増減率 (%)	▲2.8%	100.0%	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	60,165	4,749	5,072	3,432	109.62

(2) 修正の理由

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について合理的に算定することが困難であったことから未定としておりました。また、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として見通せない状況であります。直近の動向や当社グループが現時点において入手可能な情報をもとに業績予想の算定をいたしましたので公表いたします。

軸受機器事業においては、一般産業機械向け製品、自動車向け製品ともに上期に需要減少の底に達し、下期後半に前年並に回復すると予想しておりましたが、上期の落ち込みが予想以上に大きかった一方で、回復は当初の想定よりもやや速いペースで進むと見込んでおります。また、費用面においてはエリア毎に異なるコロナ禍のインパクト等を踏まえた拠点体制の見直しや全社的な経費削減等の施策を継続して実施して参ります。これらにより、2021年3月期の業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、新型コロナウイルス感染症により引き続き当社グループを取り巻く環境は通常以上に不透明な状況が続くことが予想されます。今後の感染症拡大や収束の状況等により業績予想に大きな変動が見込まれる場合には、業績予想を修正し、速やかに公表してまいります。

2. 剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年5月26日公表)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2020年9月30日	同左	2019年9月30日
1株あたり配当金	15円00銭	—	25円00銭
配当金総額	471百万円	—	785百万
効力発生日	2020年12月11日	—	2019年12月3日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 2021年3月期 期末配当予想の修正について

	年間配当金（円）				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想	円銭 —	円銭 —	円銭 —	円銭 —	円銭 —
今回修正予想	—	—	—	15.00	30.00
当期実績	—	15.00	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	—	25.00	—	25.00	50.00

(3) 配当の理由

当社は、通期における業績と今後の業績予想を踏まえ、将来の経営基盤強化のための投資と株主の皆様への利益還元等を考慮しつつ、安定的かつ継続的な配当を基本としております。

2021年3月期の配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により業績予想を合理的に算定することが困難であったことから未定としておりましたが、上記の基本方針を踏まえ2021年3月期の業績予想に基づき、1株あたりの中間配当金は15円とし、通期では30円とする予定です。

以 上

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。